

他の鳥に対する縄張り宣言「ホーホケキョ」 — ウグイス —

スズメ目ウグイス科、全長14～16cm、留鳥。

平地から山地、下草にササ類がある林を好んで生息することが多い。さえずりは、「ホーホケキョ、ホーホケキョ」「ケキョ、ケキョ、ケキョ…」地鳴きは、「チャツ、チャツ」。

さえずるのは縄張り内を見張っているオスで、他の鳥に対する縄張り宣言であり、巣にえさを運ぶメスに対する「縄張り内に危険なし」の合図でもあります。突然「ケキョ、ケキョ」とけたたましく鳴くことがあります。この鋭い鳴き声は「谷渡り」といって警戒している鳴き声です。

早春に鳴き始めるため「春告鳥」と呼ばれ、日本三鳴鳥の一つとして古くから親しまれてきました。(他はコマドリ、オオルリ)「ホーホケキョ」とさえずるのを初めて聞いた日を「ウグイスの初鳴日」と呼びます。(陶史の森の令和2年の初鳴日は、2月23日でした。)このさえずりは2月から8月下旬までがよく聞かれる時期ですが、10月頃まで聞かれることがあります。

繁殖期は初夏でオスは縄張りをつくり「ホーホケキョ」と1日1000回ほど鳴くことがあります。5月はウグイスのさえずりをとても多く聞くことができる時期となります。陶史の森もいっそう賑やかで元気な森になります。

5月はウグイスに限らず他の野鳥の多くも繁殖期を迎えます。それぞれが、競ってさえずり、野鳥たちの合唱のようにも聞こえます。陶史の森で耳を澄ましてみませんか？



子羊が生まれて1ヶ月 3月28日(土)

3月1日(日)子羊が誕生しました。朝、羊小屋へいくともう母親の横にいましたので深夜生まれたのではないかと思います。生まれたての時は足もふらつきなかなか思うように動くことができなかつたのですが、今は、すくすくと元気に大きく育っています。まだまだ母親の横を離れられず、いつも乳を求め甘えています。初夏には元気に走り回っていることと思います。



教室のご案内

新型コロナウイルス感染予防のため、5、6月の「陶史の森」行事は中止となります。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。